

令和6年度 白馬村地域計画懇談会
要旨

日時：令和6年11月20日（水）午後1時30分～3時15分
場所：白馬村役場多目的研修集会施設 多目的ホール

【出席者】60名

白馬村農政課11名、長野県関係3名、関係団体3名、白馬村農業委員会12名、認定農業者・新規就農者8名、区長7名、白馬村議会5名、多面的機能支払交付金・中山間地域直接支払交付金組織6名、一般農業者5名

1. 開会

白馬村農業委員会 太谷職務代理が開会を宣言。

進行：田中農政課長

長野県北アルプス地域振興局農業農村支援センター 松崎係長、長野県北アルプス地域振興局農地整備課 青木技術専門員、宮下水利防災係長、長野県農業開発公社北アルプス支所太田参事を紹介した。

2. あいさつ

○白馬村農業委員会 松沢会長

本日は、お忙しい中、白馬村地域計画懇談会にご参集いただき感謝する。地域計画とは、従来の人・農地プランが、法律改正により令和5年4月から地域計画となり令和7年3月までの公表が義務付けとなった。また、地域計画に添付する目標地図は、元気な個人農家がずっと農業を継続していくことが理想だが、全国的に農業従事者の激減が予想されているため、概ね10年後、地域の農地を、どの認定農業者に託すか、あるいはお願いするかを、話し合いにより、地域の農業委員会が素案を作成することになっている。このため、白馬村農業委員会と白馬村農政課では、令和4年度から関係者との懇談会を重ねて開催し、要旨や資料は、全て村のホームページで公表している。本日は、さらに多くの皆様から意見をお聞きしたいので、議会産業経済委員会、関係区長、関係団体、一般農家の皆さまにもお声がけさせていただいた。本日は、今までの議論を経て作成した目標地図を確認いただき、修正等あればテーブル毎に意見を集約し、年度末の公表に向け準備したい。

また、農業振興地域の見直しにも着手し案を示すことができるに至った。実態が原野、ほ場整備が進みながらも指定してないところもあるため、これから地区の皆さんと相談しながら、農業振興地域として残すべき農地をどこにするのかということも併せて、村の中で検討していきたい。

最後に、法律改正によって、農地の貸し借りに関して一部変更があるので、後ほど説明する。

3. 会議事項

(1) 「地域計画」「目標地図」策定及び農業委員会、認定農業者の役割について
農政課大塚農林係長が、資料1に基づいて説明した。

(2) 白馬村の認定農業者（担い手）の状況について
営農支援センター降旗次長が、資料2に基づいて説明した。

(3) ほ場整備の状況について
農政課柏原土地改良係長が、資料3に基づいて説明した。

(4) 農業振興地域見直しについて
農政課大塚農林係長が、資料4に基づいて説明した。

(5) 農用地利用の意向アンケート結果について

農政課大塚農林係長が、資料5に基づいて説明した。

(6) 農地の貸し借りの制度変更について

長野県農業開発公社北アルプス支所 太田参事が別紙配布資料に基づいて説明した。

4. 話し合いによって作成した地域計画案及び目標地図に関する説明・意見交換（意見聴取）

- ・農政課大塚農林係長と久米主事が、地域計画案及びテーブルごとの進め方について説明した。
- ・3グループに分かれ意見交換を行った。
- ・グループごとの机に認定農業者を色で振り分けた目標地図、農業振興地域の現況を表した地図を用意し、意見交換材料とした。
- ・担当職員が図面の説明をした。
- ・グループごとに農政課職員を配置した（進行係、書記係、地図付箋係）。
- ・農業委員会長、農政課長はフリーとした。

○グループ1意見

村 関 係：大塚敦司（進行）、大谷譲二（書記）、田中浩文（地図付箋）

県 関 係：松崎係長（農業農村支援センター）

農 業 委 員：松沢利彦、太谷敏也、津滝明子、矢口公勝

認定農業者：武田昭彦、伊藤仁、松澤智之、佐藤栄太郎（新規就農者）

区 長：吉野孝之（八方口）、大石力（塩島）

議 会 議 員：産業経済委員 切久保達也、松本喜美人

：総務社会委員 増井晴美、尾川耕

関 係 団 体：花谷彰彦（飯森農地水保全会）、宮島佐登志（野平農地水保全会）

◆神城・北城地区の主な意見

- ・自分が営農している瑞穂周辺は宅地化（農地転用）が進んできており今後が心配。
- ・北城地区の赤網掛け箇所、ソバの作付けしかできないのではないかと。ほとんどの田は水の掛かりが悪いところが多いと思われる。

◆青鬼地区の主な意見

- ・なし

◆共通意見

- ・アンケートは10年後について質問・回答だったが、10年後は見通しがつかない。

○グループ2意見

村 関 係：柏原英司（進行）、中野太輔（書記）、田中哲（地図付箋）

県 関 係：青木専門員（農地整備課）、

農 業 委 員：津滝晃憲、平瀬久美子、福島利文

認定農業者：長澤素孝、吉沢勇

区 長：伊藤晴光、塩嶋次郎、宮田茂生

議 会 議 員：産業経済委員 横川恒夫

一般農業者：郷津利明、

関 係 団 体：太田参事（農業開発公社）下川信敏（土地改良区）、吉沢篤（ほ場整備北城北部地区実行委員会）、瀧沢元（深空農地水保全活動組織）、吉田理（三日市場保全会）、渡邊宏（内山農地水保全活動組織）

◆神城・北城地区の主な意見

- ・いずれ堀之内地区はすべて白馬農場が行う予想。
- ・塩島地区はマイテクル・宮島強氏が行う予想。
- ・野平の後は不明だが、住民はまだ耕作するのでは。

◆青鬼地区の主な意見

- ・青鬼での耕作は不可能。
- ・村が組織を立ち上げるしかないのでは。
- ・管理が大変。
- ・村で支援するか。
- ◆共通意見
- ・特になし。

○グループ3意見

村 関 係：久米俊輔（進行）、下川貴彦（書記）、降旗隆男（地図付箋）、郷津知哉（全体写真）
 県 関 係：宮下係長（農地整備課）
 農 業 委 員：太谷正治、下川浩紀、横川洋一、武田克明
 認定農業者：宮島強、北澤彰、武田和男
 区 長：松沢喜彦（堀之内）、下川守計（野平）
 議 会 議 員：産業経済委員 太田伸子、加藤ソフィー
 一般農業者：郷津直弥
 関係団体：長澤益典（内山集落協定）、宮田佳彦（新田農地水保全会）

◆神城・北城地区の主な意見

- ・真畔ほ場の砂利採取ヶ所は割振りが決まっていない。

◆青鬼地区の主な意見

- ・3名で行うことが理想。地元の人をトップにした方が良いと思う。
- ・紫米耕作を考えても良いが、来年度は難しい。
- ・青鬼は遠いので、野平での作付けを考えてはどうか。

◆共通意見

- ・神城、北城に分かれて話せばよかった、他地区の状況分からない。

5. 閉会

白馬村農業委員会 太谷職務代理が閉会を宣言。